

【Issaries】

説明

死への道を見つけたりしはイサリーズ、
世界を多いし沈黙の闇を払いたまう。
道を選びしイサリーズ、光持ち帰りし者の斥候は、
今や商人、伝令たちにその名は高く称えられん。



解説

神殿

嵐の神殿。神。

称号、職能

意思疎通と交易の神。

概略

(その神のことを簡単に書こう)

異界

組織

聖日

大聖日

下位カルト

- ・“案内人”イサリーズ
- ・白銀の舌のガーゼーン
- ・黄金の舌のグルサ
- ・青銅の舌のハースト

相、カルト

(どの神の相なのか、どの神の下位カルトなのか書きましょう)

好まれる神友

ラバ、壺、杖、店。

業績

- ・(その神のなした業績を一行で書き表そう。その業績は単独で記事にしよう)
- ・(その神のなした業績を一行で書き表そう。その業績は単独で記事にしよう)

近親

両親

父親はラーステイ。

母親はハラーナ・イロール。

兄弟姉妹

舞踏の女神？

配偶者

(いる？)

子

青銅の舌のハーストをなす。

白銀の舌のガーゼーンをなす。

黄金の舌のグルサをなす。

神知者分類法

「移動」「調和」「意思疎通」

参考文献

- ・『グローランサ神名録』 p.-
- ・『ゆりかご河』 p.-
- ・『ヒーローウォーズ～英雄戦争～』 p.38-39
- ・『Thunder Rebel』 p.
- ・『Storm Tribe』 p.6,p.109-122
- ・『グローランサ年代記』 p.65,p.102,p.106